

みずほCustomer Desk Report 2016/07/01号(As of 2016/06/30)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	102.80	1.1123	114.35	0.9797	1.3452	0.7467
SYD-NY High	103.29	1.1154	114.80	0.9820	1.3496	0.7473
SYD-NY Low	102.35	1.1023	113.42	0.9729	1.3207	0.7372
NY 5:00 PM	103.19	1.1108	114.61	0.9760	1.3315	0.7453
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	13.245/13.795		△25RR	1.503	Yen Call Over	

	債券市場	日本2年債	-0.2950	0.2bp
NY DOW	17,929.99	235.31		
NASDAQ	4,842.67	63.43		
S&P	2,098.86	28.09		
日経平均	15,575.92	9.09		
TOPIX	1,245.82	▲1.87		
シカゴ日経先物	15,820	10.00		
ロンドンFT	6,504.33	144.27		
DAX	9,680.09	67.82		
ハンセン指数	20,794.37	358.25		
上海総合	2,929.61	▲1.99		
USDJPY 3M Vol	12.39	0.03%		
USDJPY 6M Vol	11.94	0.03%		
EURJPY 3M Vol	13.31	▲0.06%		
EURJPY 6M Vol	13.11	0.04%		

	為替市況	USD/CNH	6.6712	0.0167
日本10年債	-0.2170	1.3bp		
米国2年債	0.5817	▲5.5bp		
米国5年債	0.9997	▲5.8bp		
米国10年債	1.4697	▲4.6bp		
独10年債	-0.1300	▲0.4bp		
英10年債	0.8670	▲8.2bp		
豪10年債	1.9810	▲2.3bp		
ドルインデックス	96.14			
商品市況	CRB指数	192.574	▲2.06	
	NY金	1,320.600	▲6.30	
	WTI	48.330	▲1.55	
	Dubai Spot	46.83	1.41	

東京	東京時間のドル円は102.80レベルでオープン、序盤は本邦輸出勢による月末かつ四半期末のドル売り円買いフローが意識され、利食い売りが先行。但し、前日海外時間からのリスクオフ買戻しの流れが継続、日経平均株価が寄り付きより堅調推移すると、仲値にかけてはB/Sウッジに伴う実需のドル買い等が集中しドル円は102.93まで上昇。しかしながら、仲値後は輸出勢の売りが散見される中、ドル円は徐々に上値が重くなると、日経平均株価が上げ幅を縮める動きにじり安となり、結局102.60レベルで海外市場へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は102円台後半で動意薄となった。朝方は102.60レベルでオープン、米長期金利が序盤に急激に上昇する場面ではドル円もつれ高となり、102円台後半まで上昇。102.71レベルでNYへ渡った。ユーロドルは1.1094レベルでオープンし、ショートカバーにより1.1111台半ばまで上昇したものの、原油がロンドン時間午後以降に続落する展開となるとユーロドルも反落し、1.1104レベルでNYへ渡った。ロンドン時間序盤に「中国人民銀行、今年対ドル6.8元程度までの人民元下落を容認の方向」との関係筋の話が報道されるとドル人民元が急騰し、豪ドルもつれ安となり一時対ドルで0.74台前半から0.73台後半まで下落したがすぐに値を戻した。(ロンドン17:00 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	NY時間のドル円は102.71レベルでオープン。朝方は、米新規失業保険申請件数が予想とほぼ一致したことから、ドル円の反応は限定的となり、狭いレンジでの推移が続く、続いて発表の6月シカゴ購買部協会景気指数が予想を上回り、ロンドンフィックスに掛けて、月末のリバンスからドル買いが出るとの思惑もあり、102.96まで上昇する。ロンドンフィックスを通過するとドル売りが優勢となり、また、カーニー英中銀総裁が「夏の間に追加緩和をしなければならなくなるだろう」と話したことから市場はボンド売りに反応し、ボンド円が下落する展開にドル円も連れて102.35まで下落する。その後は堅調な株式市場が一段と上昇する展開に加えて円買いが強まり、米連休を控えたポジション調整等の動きも強まり、先日99.00まで急落後に戻した103.22を抜け、103.29まで上昇し、103.19レベルでクロスした。一方、世界的に堅調な株式市場を受けたユーロ円の買いに1.1154までサポートされたユーロドルは、1.1104レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続くが、正午になるとブレグジットで資産プールのが激減していることから、ECBは資産買取基準を緩める」とのヘッドラインを受け1.1023まで急落する。その後はショートカバーにやや買い戻されるもの、米格付会社がEUの格付けを1-notch引き下げたことから、再び1.1036まで下落する。終盤に掛けては、堅調な株式市場を受けたユーロ円の買いに連れ高となり、1.1108レベルでクロスした。(NY00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 加藤・橋

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月30日	8:50	日 鉱工業生産・速報値(前月比/前年比)	5月 -2.3%/ -0.1%	-0.2%/ 1.9%
	8:50	日 対外及び対内証券投資	6/24週分 -	-
	15:00	独 小売売上高(前月比/前年比)	5月 0.9%/ 2.6%	0.6%/ 2.5%
	15:45	仏 消費者物価指数(前月比/前年比)	6月 0.2%/ 0.2%	0.2%/ 0.2%
	16:55	独 失業率	6月 -6K/ 6.1%	-5K/ 6.1%
	17:30	英 GDP・確報値(前期比/前年比)	第1Q 0.4%/ 2.0%	0.4%/ 2.0%
	18:00	欧 CPI予想/CPIコア	6月 0.1%/ 0.9%	0.0%/ 0.8%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	6/25週分 268K	267K
	22:45	米 シカゴ購買部協会景気指数	6月 56.8	51.0
7月1日	4:15	米 ブラード・セントスミス連銀総裁、講演	-	-

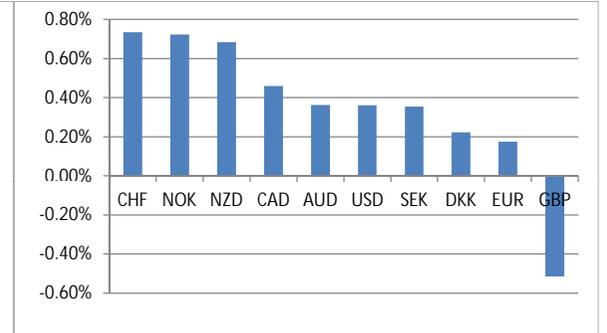
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月1日	8:30	日 全国CPI/コアCPI/コアコアCPI(前年比)	5月 -0.5%/ -0.4%/ 0.6%	-0.3%/ -0.3%/ 0.7%
	8:50	日 日銀短観: 大企業製造業/非製造業	第2Q 4/19	6/22
	10:00	中 製造業PMI/非製造業PMI	6月 50.0/-	50.1/53.1
	10:45	中 財新・製造業PMI	6月 49.2	49.2
	17:00	欧 製造業PMI・確報値	6月 52.6	52.6
	18:00	欧 失業率	5月 10.1%	10.2%
	22:45	米 製造業PMI・確報値	6月 51.2	51.4
	23:00	米 ISM製造業景況指数	6月 51.3	51.3
	23:00	米 建設支出(前月比)	5月 0.6%	-1.8%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	102.60-103.80	1.1050-1.1150	114.00-115.20

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は底堅い推移となった。英国EU離脱決定後の過度なリスクオフムードが後退していた中、カーニーBOE総裁が夏にかけての追加緩和を示唆。続いて「ECB債券購入ルール緩和を検討」との報道を受けて株高が進行すると、ドル円も連れ高となり一時103.29まで上昇する展開となった。本日のドル円相場はもみ合い推移を予想する。過度なリスクオフの動きには一服感が見られ、積極的に円が買われる地合いではないと考えられる。一方で、来週の米6月雇用統計までは足元で後退している米国利上げ観測が再び高まってくることは考えづらく上下どちらにも明確な方向感はないと考えている。